

|         |                                |       |           |
|---------|--------------------------------|-------|-----------|
| 授 業 科 目 | 装具学実習Ⅲ（下肢装具・側弯症用装具）            |       |           |
| 教 育 内 容 | 専門分野                           | 装具学   |           |
| 担 当 教 員 | 中村喜彦、星野元訓、大谷巧                  |       |           |
| 学 年     | 2                              | 単 位 数 | 4         |
| 開 講 時 期 | 前期（木曜日 1・4 限）<br>後期（月曜日 1・4 限） | 時 間 数 | 実習 180 時間 |

## ■ 授業概要

本科目は、「下肢装具」「側弯商用装具」の2プロジェクトより構成され、それぞれの装具の疾患に対する適合理論，製作技術を習得する。

### < 下肢装具 >

第1回から第78回までで行う。「継手付きプラスチック短下肢装具」、「両側支柱付き長下肢装具」、「UCBL Shoe Insert」、「PTB 免荷装具（免荷十分型）」、「坐骨支持長下肢装具（免荷不十分型）」について、その使用目的，製作方法、適合の知識と必要な基本的技術を教授する。

### < 側弯症用装具 >

第79回から第90回までで行う。側弯症、および装具療法について学習する。健常学生をモデルに2種類（ミルウォーキー型、ボストン型）の側弯症用装具の採型から適合を通して、側弯症用装具における矯正理論や製作方法を習得する。

## ■ 到達目標

### < 下肢装具 >

- 1) 下肢装具の採型、製作方法、適合について理解し実践できる。
- 2) 不適合の原因を理解し対処できる。

### < 側弯症用装具 >

- 1) 側弯症の疾患上の特徴、および側弯用装具による装具療法の理論を理解する。
- 2) 側弯症用装具の製作・適合技術を理解する。

## ■ 授業内容

|         |                 |                          |               |
|---------|-----------------|--------------------------|---------------|
| 第1-8回   | 継手付き            | 採型、モデル修正                 | 中村 喜彦<br>大谷 巧 |
| 第9-14回  | プラスチック          | プラスチック成形、仮合せ準備、仮合せ       |               |
| 第15-22回 | 短下肢装具           | 適合修正、仕上げ、評価              |               |
| 第23-30回 | 両側支柱付き<br>長下肢装具 | 採寸・トレース、AFO レイアウト、AFO 製作 | 中村 喜彦<br>大谷 巧 |
| 第31-34回 |                 | KAFO レイアウト、支柱曲げ加工        |               |
| 第35-40回 |                 | 半月曲げ加工、組立て、仮合せ           |               |
| 第41-48回 |                 | 修正、仕上げ                   |               |
| 第49-50回 |                 | 適合評価                     |               |
| 第51-52回 | UCBL            | 採型・修正                    | 中村 喜彦<br>大谷 巧 |
| 第53-54回 | Shoe Insert     | プラスチック成形、適合評価（Demo）      |               |
| 第55-62回 | PTB 免荷装具        | 採型、モデル修正、プラスチック成形、支柱曲げ加工 |               |
| 第63-70回 |                 | あぶみ曲げ加工、仮合せ準備、仮合わせ、修正、評価 |               |

|           |        |                     |                        |
|-----------|--------|---------------------|------------------------|
| 第 71-74 回 | 坐骨支持   | 採型・モデル修正            | 中村 喜彦                  |
| 第 75-78 回 | 免荷装具   | プラスチック成型、金属曲げ加工、仮合せ | 大谷 巧                   |
| 第 79-81 回 | 側弯症用装具 | 側弯症用装具採型、陽性モデル製作    | 星野 元訓<br>中村 喜彦<br>大谷 巧 |
| 第 82-84 回 |        | 陽性モデル修正             |                        |
| 第 85-87 回 |        | 側弯症用装具成形・組立         |                        |
| 第 88-90 回 |        | 側弯症用装具適合チェック、および修正  |                        |

#### ■ 評価方法

2つのプロジェクトの総合評価とし、配分は次の通りとする。

下肢装具 90%、靴型装具 10%

各プロジェクトにおける評価配分は次の通りとする。

<下肢装具>

小テスト 20%、製作実習 80%、

<側弯症用装具>

小テスト 20%、製作実習 80%、

#### ■ 教科書

装具学 第4版，医歯薬出版

義肢装具のチェックポイント 第9版，医学書院

新編 装具治療マニュアル，医歯薬出版

#### ■ 留意事項

<担当教員の実務経験>

星野元訓：本学院義肢装具学科の専任教員として 23 年間勤務。

中村喜彦：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 5 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 16 年間勤務。

大谷巧：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 15 年間従事。